



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月30日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉澤 博三
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	55,277	△19.6	1,594	△17.7	1,668	△24.1	2,090	—
2019年3月期第2四半期	68,758	△14.4	1,938	△51.7	2,198	△44.7	△1,776	—

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 739百万円（－％） 2019年3月期第2四半期 △723百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	92.48	—
2019年3月期第2四半期	△69.21	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	87,609	59,602	62.4	2,420.07
2019年3月期	91,271	59,294	59.5	2,404.10

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 54,711百万円 2019年3月期 54,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	15.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

（注）2020年3月期第2四半期末配当の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△14.5	3,500	△11.1	3,500	△18.9	2,800	—	123.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	26,000,000株	2019年3月期	26,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,392,788株	2019年3月期	3,392,641株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	22,607,258株	2019年3月期2Q	25,662,296株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)における世界経済は、混迷の度を深める米中貿易摩擦や中国、欧州の景気減速、加えて地政学リスクの高まり等、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが属する電子部品業界は、まず自動車関連市場において新車販売台数が世界的に減少傾向となりました。一方で、EVや自動運転に代表される次世代自動車向け部品の開発は活発化しています。次に、スマートフォン関連市場では、普及率の高止まり等から部品需要が鈍化しました。

こうした中、当社グループは、スマートフォン向けヘッドセットの生産体制の合理化を推進すると同時に、新製品の量産立ち上げに取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は55,277百万円(前年同期比19.6%減)、営業利益は1,594百万円(前年同期比17.7%減)、経常利益は1,668百万円(前年同期比24.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,090百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,776百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

[スピーカ事業]

車載用スピーカ・スピーカシステムは、世界的な新車販売台数の減少に伴い、売上高が32,631百万円(前年同期比5.3%減)、営業利益が1,754百万円(前年同期比14.4%減)となりました。

[モバイルオーディオ事業]

主力顧客向けヘッドセットの販売数量が減少したことから、売上高が19,603百万円(前年同期比37.6%減)、営業損失が170百万円(前年同期は営業損失254百万円)となりました。

[その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他の売上高は、3,107百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は10百万円(前年同期比92.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に棚卸資産の減少により前連結会計年度末に比べ3,662百万円減少して87,609百万円となりました。負債は、主に借入金の減少により前連結会計年度末に比べ3,969百万円減少して28,007百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ307百万円増加して59,602百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比2.9ポイント増の62.4%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより22,114百万円となり、前連結会計年度末に比べ590百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、棚卸資産の減少等により3,248百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、有形固定資産の売却による収入等により1,172百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、借入金の減少等により3,331百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,854	12,575
受取手形及び売掛金	18,888	19,003
電子記録債権	373	286
有価証券	11,386	10,877
製品	16,405	14,123
原材料	5,247	4,128
仕掛品	1,148	1,138
貯蔵品	167	207
未収入金	1,033	1,039
その他	1,291	2,028
貸倒引当金	△24	△28
流動資産合計	67,773	65,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,127	8,683
機械装置及び運搬具(純額)	5,187	4,321
工具、器具及び備品(純額)	2,142	1,922
土地	874	1,610
建設仮勘定	1,142	1,578
有形固定資産合計	18,475	18,116
無形固定資産		
ソフトウェア	194	143
借地権	821	—
その他	154	290
無形固定資産合計	1,171	433
投資その他の資産		
投資有価証券	2,488	2,419
長期前払費用	97	56
退職給付に係る資産	697	720
繰延税金資産	240	204
その他	326	276
投資その他の資産合計	3,851	3,677
固定資産合計	23,497	22,227
資産合計	91,271	87,609

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,334	8,067
短期借入金	2,634	2,295
1年内返済予定の長期借入金	6,863	5,291
未払金	3,112	2,807
未払法人税等	713	869
未払費用	2,005	1,695
賞与引当金	689	813
その他	1,098	599
流動負債合計	25,453	22,439
固定負債		
長期借入金	5,108	3,918
繰延税金負債	778	757
退職給付に係る負債	77	196
役員退職慰労引当金	12	14
株式給付引当金	92	110
資産除去債務	244	247
その他	208	323
固定負債合計	6,523	5,567
負債合計	31,977	28,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	7,961	7,961
利益剰余金	44,813	46,676
自己株式	△5,222	△5,222
株主資本合計	54,322	56,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677	635
為替換算調整勘定	△161	△1,763
退職給付に係る調整累計額	△488	△347
その他の包括利益累計額合計	27	△1,474
非支配株主持分	4,944	4,891
純資産合計	59,294	59,602
負債純資産合計	91,271	87,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	68,758	55,277
売上原価	59,998	47,473
売上総利益	8,760	7,804
販売費及び一般管理費	6,821	6,209
営業利益	1,938	1,594
営業外収益		
受取利息	64	167
受取配当金	20	18
為替差益	255	—
雑収入	180	287
営業外収益合計	520	473
営業外費用		
支払利息	102	73
為替差損	—	223
雑損失	158	102
営業外費用合計	260	399
経常利益	2,198	1,668
特別利益		
固定資産売却益	—	2,706
国庫補助金	—	295
特別利益合計	—	3,001
特別損失		
減損損失	2,088	663
特別退職金	969	616
特別損失合計	3,057	1,280
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△859	3,390
法人税、住民税及び事業税	597	964
法人税等調整額	55	18
法人税等合計	652	983
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,511	2,406
非支配株主に帰属する四半期純利益	264	316
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,776	2,090

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,511	2,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	△41
為替換算調整勘定	801	△1,825
退職給付に係る調整額	19	200
その他の包括利益合計	788	△1,666
四半期包括利益	△723	739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△785	588
非支配株主に係る四半期包括利益	62	151

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△859	3,390
減価償却費	2,631	1,576
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	7	△23
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	55	123
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	191	128
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2,706
補助金収入	—	△295
減損損失	2,088	663
特別退職金	969	616
受取利息及び受取配当金	△85	△185
支払利息	102	73
為替差損益(△は益)	104	△19
売上債権の増減額(△は増加)	2,822	△608
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,114	2,615
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,908	51
未収入金の増減額(△は増加)	130	△47
未払金の増減額(△は減少)	△574	△189
その他	352	△1,084
小計	5,158	4,086
利息及び配当金の受取額	85	185
利息の支払額	△102	△73
補助金の受取額	—	295
特別退職金の支払額	△969	△616
法人税等の支払額	△717	△628
法人税等の還付額	162	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,617	3,248
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,526	△658
有価証券の償還による収入	1,341	885
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,714	△1,884
有形固定資産の売却による収入	—	2,595
無形固定資産の取得による支出	△71	△10
定期預金の増減額(△は増加)	△186	239
短期貸付金の増減額(△は増加)	0	—
長期貸付けによる支出	△0	—
長期貸付金の回収による収入	4	—
長期前払費用の取得による支出	△8	△20
その他	8	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,154	1,172

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	468	△221
長期借入れによる収入	3,665	—
長期借入金の返済による支出	△754	△2,720
配当金の支払額	△904	△227
非支配株主への配当金の支払額	△149	△148
自己株式の取得による支出	△1,167	△0
その他	—	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,158	△3,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	190	△498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,812	590
現金及び現金同等物の期首残高	10,150	21,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,962	22,114

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

当社グループは、第1四半期連結会計期間の期首より、米国基準を採用する北米子会社を除いた在外子会社について、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が197百万円増加し、流動負債の「その他」が79百万円及び固定負債の「その他」が129百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。なお、従来、無形固定資産の「借地権」にて記載しておりました土地使用権786百万円につきましては、当第2四半期連結会計期間より有形固定資産の「土地」に含めて記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	34,450	31,407	2,900	68,758	—	68,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	89	89	△89	—
計	34,450	31,407	2,990	68,848	△89	68,758
セグメント利益又は損失 (△)	2,050	△254	143	1,938	0	1,938

(注)1 セグメントの調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を2,088百万円計上しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	32,631	19,603	3,043	55,277	—	55,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	64	64	△64	—
計	32,631	19,603	3,107	55,341	△64	55,277
セグメント利益又は損失 (△)	1,754	△170	10	1,594	△0	1,594

(注)1 セグメントの調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スピーカ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を487百万円計上しています。

「その他事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を175百万円計上しています。